

根っこから変えていくピンポイント政治経済 日本の政治 問題

【問題】日本の選挙制度についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。(07 追)

- ① 衆議院の小選挙区で落選した重複立候補者は、比例名簿登載順位が同じ場合、得票数が多い順に比例区で当選できる。
- ② 地方議会は、地方議会の固有の権限として、各地方議会議員選挙の選挙権・被選挙権を有する者の年齢を独自に定めることができる。
- ③ 参議院の選挙制度には、政治改革の一環として拘束名簿式比例代表制が採用されている。
- ④ 海外在留邦人の選挙権が衆参比例代表選挙に限られることは違憲である、とする最高裁判所の判決が出されている。

※問題を解いた人は、選んだ選択肢以外の問題でどこが間違っているのかを考えてみましょう！

根っこから変えていくピンポイント政治経済 日本の政治 解答、解説

【問題】日本の選挙制度についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。(07 追)

- ① 衆議院の小選挙区で落選した重複立候補者は、比例名簿登載順位が同じ場合、得票数が多い順に比例区で当選できる。 惜敗率
率が大きい順
- ② 地方議会は、地方議会の固有の権限として、各地方議会議員選挙の選挙権・被選挙権を有する者の年齢を独自に定めることができる。
できない。公職選挙法にさだめられている。
- ③ 参議院の選挙制度には、政治改革の一環として拘束名簿式比例代表制が採用されている。
非拘束名簿式（順位なし）
- ④ 海外在留邦人の選挙権が衆参比例代表選挙に限られることは違憲である、とする最高裁判所の判決が出されている。